

<クラブマンモトクロス⑩振替大会のご報告>

2013年も押迫った師走に開催となったクラブマンモトクロス最終戦・MX408大会は、絶好の晴天の下で多くのライダーが集結！新しくなったコースレイアウトを満喫しました。

連盟最高峰のGPクラスではワンデー参加の#100伊東優太選手が両ヒート制覇。一方年間ランキングは1ヒート2位と健闘しながらも2ヒート目にクラッシュしてしまった#14斉藤寛選手（野田ジュニアRC）がチャンピオンを獲得。SEクラスでは今年いっぱい祖国ブラジルに帰国することになりMCFAJでの最後のレースとなった#111マルスーラ・マルセロ選手（MARCULA RACING）が今期全てのレースを制覇する快挙を見せ、有終の美を演じました。ミニモト最速のSE150クラスでは#22安孫子直輝選手（てびち）が両ヒート制覇。しかし6ポイント差で年間チャンピオンは#78大塚恭之介選手（TEAM K with MY WAY）に軍配が上がりました。

その他のクラスでも今年度の最終レースということで、各選手ともいつもに増して激しいポイントランキング争いが展開されました。

<年間チャンピオン>

GP	#14	斉藤 寛（野田ジュニアレーシングクラブ）
SE	#111	マルスーラ マルセロ（MARCULA RACING）
SE150	#78	大塚恭之介（TEAM K with MY WAY）
E450	#02	木村和弘（Heart Rocker）
E250	#31	斉藤晃康（東京ハイライトクラブ）
E150	#2	加藤木 桂（TEAM-M1-RACING）
J450	#310	佐藤佳明（TEAM-M1-RACING）
J250	#310	佐藤佳明（TEAM-M1-RACING）
J150	#329	加藤貴理（サイクルロード イトーRT）
N450	#26	湯原 修（ジェラルレーシング）
N250	#911	関 隆之（野田ジュニアレーシングクラブ）
N150	#29	樋上克之（矢崎 隼ROOST）



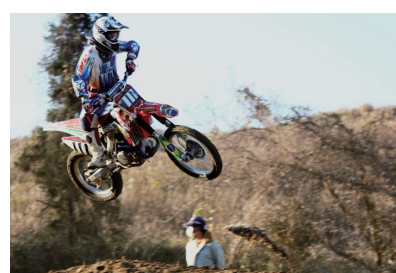
今回が最後のクラブマンレース参戦となるマルセロ選手のお別れセレモニーも行いました。



GPクラスチャンピオンを決めた#14 斉藤寛選手



GPクラス優勝#100伊東優太選手



有終の美を飾ったSEクラス優勝#111マルセロ選手



SE150クラスチャンピオンを決めた#78大塚選手



SE150クラス優勝#22安孫子選手



J450&250 2 クラスチャンピオン佐藤佳明選手